

4 月 21 日（日）に行われた平成 25 年春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データをもとに、プロジェクトマネージャ試験の合格発表コメントをお知らせします。

## ■プロジェクトマネージャ試験（PM）

[平成 25 年春期のプロジェクトマネージャ試験 統計情報]

応募者	18,571 人
受験者	11,850 人
合格者	1,485 人
合格率	12.5%

平成 25 年春期のプロジェクトマネージャ試験は、前回の平成 24 年春期のプロジェクトマネージャ試験に比べ応募者が 1,000 人ほど減りました。合格率は 12.5%で、前回の 13.1%と大差はありませんが、今の試験制度になってからの平成 21 年移行では最も低い結果でした。

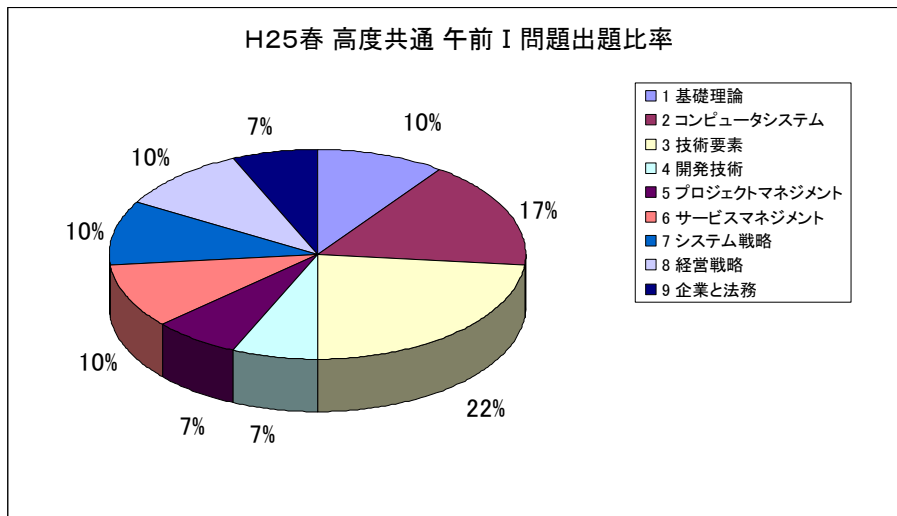
### （午前 I 試験（高度試験の共通知識問題））

- ・高度試験に共通して出される問題 30 問は、前回の試験と同様にすべて応用情報技術者試験（AP）から選ばれています。これまで、AP の問題の中でも比較的素直で常識的な問題が選ばれていましたが、今回の問題を見るとやや難しい内容をあえて選んでいると思われました。
- ・過去問題の比率は約 6 割で従来どおりの比率といえ、新傾向問題も前回と同様で多くはありませんでした。
- ・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されていますが、特定の中分類からは複数出題されています。毎回この分野は少しずつ変わりますが、セキュリティ分野の問題が前回と同様で 4 問と最も多く、セキュリティ重視の出題傾向だったことが分かります。
- ・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

（新傾向問題）

- 問 8 RFID のパッシング方式 RF タグの説明
- 問 11 データベースの設計案
- 問 14 標的型攻撃メールの特徴
- 問 22 特権 ID の不正使用を発見するコントロール
- 問 24 スマートグリッドの説明

平成 25 年春期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



(午前 II の専門知識問題)

午前 II 試験では、専門分野のプロジェクトマネジメント (PM) 分野で 15 問出題されており、半分以上の出題数になっています。今回はそのうちの 8 問が過去問題だったので、比較的解きやすかったと思われます。PMBOK と明記した問題は前回 2 問ありましたが、今回は 1 問でした。毎回少なくなる傾向にありますが、今年の 4 月に出题範囲が変更になり、これまでの PMBOK から、国際規格の ISO21500 との対応になりましたので、今後も PMBOK と明記された問題は少ないと思われます。

新傾向問題としては、次の問題が挙げられます。

問 10 プレジデンスダイアグラム法での総余裕時間の計算

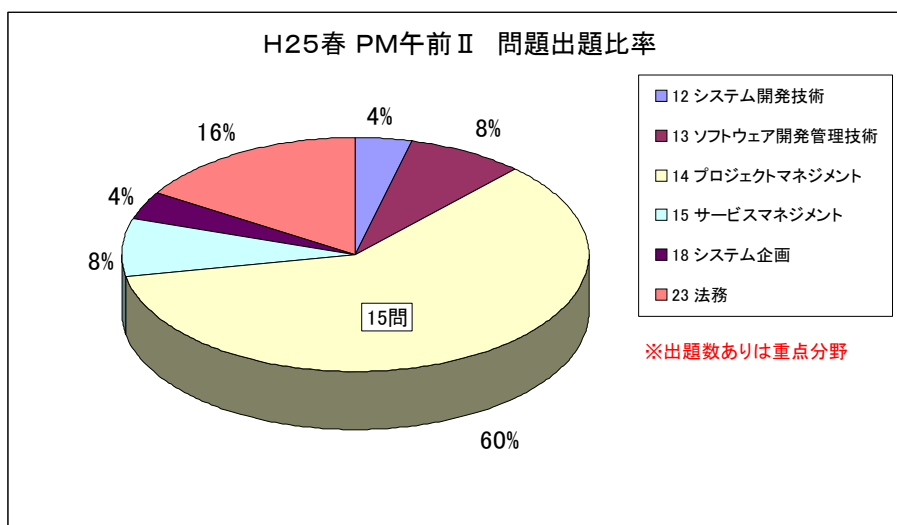
問 14 RACI チャート

問 15 デシジョンツリーにおける EMV (期待金額価値) の検討

問 22 基準に適合した製品であることを示す環境ラベル

問 23 有害物質の使用制限に関して欧州連合が施行したもの

平成 25 年春期のプロジェクトマネージャ試験 午前 II 問題出題比率



### (午後問題)

・午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。新試験では解答数が3問から2問に減りましたが、他の試験と同様に、1問あたりの解答量が多くなってきており、解答時間の余裕はあまりないと思われます。

・今回は特に組み込みシステムといえる分野の出題は見あたらず、強いて言えば問4のモバイルアプリソフトウェアの開発の問題となります。内容的には専門知識が必要ではありませんでした。

・次回の試験から、午後Ⅰ試験は出題数が3問に減り、選択の幅が狭くなりますので、注意してください。

問1 設計ドキュメント管理システムの開発（エンジニアリング企業） やや易

新システム開発の理由、運用の委託、プロジェクト計画、クラウドサービス利用による工程短縮、クラウドサービスの比較と評価、スケジュール検討

問2 プロジェクト計画の策定（通信事業者） 普通

意思決定支援システムの開発、開発の子会社委託、計画書の確認、開発担当と経営会議メンバーへのヒアリング、プロジェクト実行計画の策定、リスク分析、ステークホルダ

問3 企業合併に伴うプロジェクトの計画変更（アパレル企業） やや易

ERP採用理由、企業合併準備委員会でのシステム検討、新システムの方針、開発スケジュール、業務プロセスの理解、データ移行の計画、データ仕様の凍結

問4 モバイルアプリソフトウェアの開発（SNS提供企業） 普通

プロジェクトの目標、ステークホルダの企画部と開発会社の特性、基本設計の進め方、詳細設計以降の進め方、開発会社のリスク分析

・午後Ⅱの論文問題の出題分野とテーマは次のとおりです。前回同様、どの問題も一般的な記述し易いテーマでした。

・次回の試験から、午後Ⅱ試験は出題数が2問に減り、論文記述テーマも選択の幅が狭くなまるので、注意してください。

新試験では各設問に字数制限が付き、設問ア：800字以内、設問イ：800字～1,600字：設問ウ：600字～1,200字となっています。

問1 システム開発業務における情報セキュリティの確保

セキュリティ上のリスク、運営面の予防策とメンバーへの周知、モニタリング、問題と対処

問2 システム開発プロジェクトにおけるトレードオフの解消

プロジェクト概要と制約条件、トレードオフ内容と解消・工夫点、解決策の評価、課題、解決方針

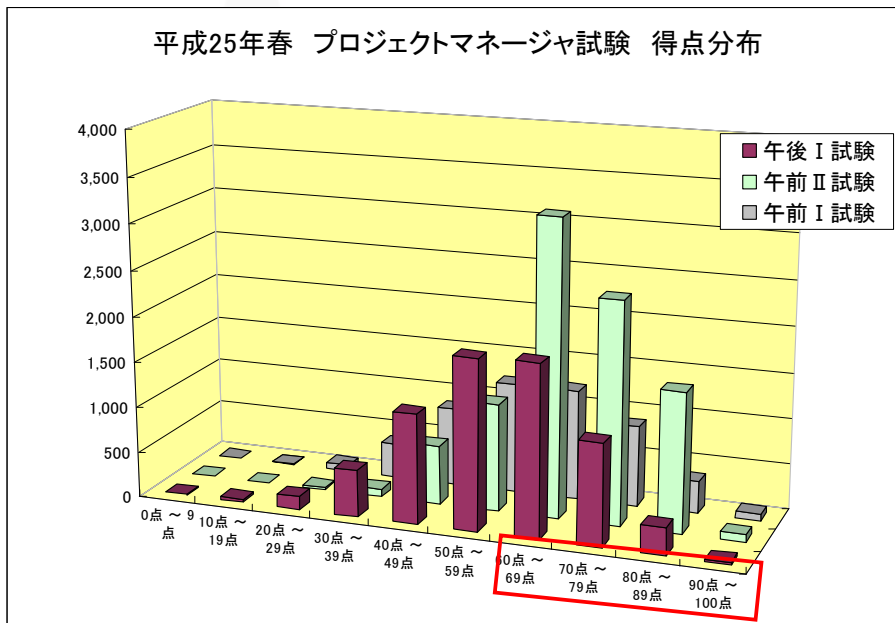
問3 システム開発プロジェクトにおける工程の完了評価

プロジェクトの特徴と完了評価・結果、把握した問題、次工程への影響、対応策、再発防止、課題

(平成 25 年春 (特別) プロジェクトマネージャ試験 スコア分布)

得点	午前 I 試験	午前 II 試験	午後 I 試験	午後 II 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	2	1	8	D 483	
10 点 ~ 19 点	6	0	30		
20 点 ~ 29 点	75	24	146	C 407	
30 点 ~ 39 点	378	86	513		
40 点 ~ 49 点	861	648	1,203	B 918	
50 点 ~ 59 点	1,212	1,182	1,862		
60 点 ~ 69 点	1,207	3,237	1,879	A 1,485	
70 点 ~ 79 点	885	2,424	1,114		
80 点 ~ 89 点	355	1,524	305		
90 点 ~ 100 点	70	79	26		
計	5,051	9,205	7,086		
対前試験比率		182.2%	77.0%	46.5%	45.1%
午前 I 免除者概算	6,799	57.4%			

合格者数	1,485	採点者数の割合	合格者数との差
午前 I 60 点以上合計	2,517	49.8%	1,032
午前 II 60 点以上合計	7,264	78.9%	5,779
午後 I 60 点以上合計	3,324	46.9%	1,839
午後 II・A 評価	1,485	45.1%	0



新試験制度で春期の試験で午前 I 試験免除になった人がたくさん出ましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 6,799 人 (57.4%) おり、受験者の 6 割近くが午前 II からの受験となっています。

得点分布を分析してみると、高度系共通の午前 I 試験で基準点 (60 点) 以上の人は 2,517 人 (受験者の 49.8%) で、この結果は前回の 55.4% に比べて 6% ほど低く、午前 I 試験から受験する方はしっかり学習する必要があるといえます。また、午前 II 試験で基準点以上の人は 7,264 人 (受験者の 78.9%) と非常に高い率になっていますが、前回試験も午前 II の結果は非常に良く、易しい問題傾向が続いているといえます。なお今後の午前 II 試験では、難しい問題が出題されることも考えられるため、難易度の少し高い問題も解答できるように学習する必要があるといえます。

午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は 46.9% で、前回の平成 24 年春の試験の 56.2% に比べて 6% ほど下がっています。午後 II で合格点の A 評価を取れた人は 45.1% で前回試験の 39.8% に

比べて6%ほど高く，論文試験の方は前回よりもよい結果でした。

●  
●  
●  
iTEC

### (今回合格された人)

今回見事合格された方で、今秋の「情報セキュリティスペシャリスト、ネットワークスペシャリスト、ITストラテジスト、システムアーキテクト、ITサービスマネージャ」の試験を目指す方は、午前の試験が「共通知識」の午前Ⅰと「専門知識」の午前Ⅱに分かれます。ただし、午前Ⅰ試験に関しては免除になりますので、午前Ⅱの学習をなるべく早く開始しましょう。

学習を開始するにあたっては、書籍・eラーニング(WEB教材・WEBテスト)・公開模試がセットになって試験範囲全体を短期間で万遍なく学習できる通信教育の「WEB午前Ⅰ免除コース」がオススメです。

その他、弱点補強中心に午前対策のトレーニング問題とポイント解説、午後対策の重要ポイントを音声・スライドで解説する「WEB演習コース」や、受験対策のプロ講師による午後試験対策に重点をおいたセミナーの「合格ゼミ」など、学習アイテムを豊富に取り揃えております。通信教育に午後試験対策用に「合格ゼミ」を追加するなど組合せは自由自在なので、今春の受験で苦手意識のあった分野の弱点克服をしつつ、次のステップアップを目指しましょう。

### (今回残念ながら不合格だった人)

まず、午前Ⅰの試験で50点に満たなかった人は、自分がよく理解していない内容について早めの学習が重要です。時間のない方は、「応用情報・高度共通 午前試験対策」や「応用情報技術者 最頻出問題集」などの書籍を活用し出題ポイントと必須問題で効率的に学習を進めましょう。

今回の午前Ⅰ・Ⅱ試験の得点が50点～59点だった方は、合格ラインまで“あと一歩”のところまで実力がついていきますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。

午後試験の得点が60点未満だった方は、まず午前Ⅱの「専門知識」の内容に関して、試験問題を解答するのに必要な知識を確実に理解してください。なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受験するなど、本番を想定した学習を行うのも効果的です。

再受験のための学習を進めていくにあたっては、弱点補強中心にすでに教材をお持ちの方向けの午前対策のトレーニング問題とポイント解説、午後対策の重要ポイントを音声・スライドで解説する「WEB演習コース」や、午後試験対策を重点的に学習したい方にはセミナーの「合格ゼミ」がオススメです。

通信教育の各種コースは、厳選した教材構成となっており、学習者が知識レベル・学習進捗に応じて基礎教材が柔軟に追加できるコースとなっております。改めて分野ごとにITSSレベルのさらに深い知識を得たい方、または知識に不安のある方は、別途基礎テキスト教材をお求めいただき、各種コースと併用いただければ、より知識の定着を図ることができるでしょう。午前Ⅱ試験の出題範囲であるプロジェクトマネジメントの関連知識も含め、基礎から応用までを深く理解したい場合は「高度専門 プロジェクトマネジメント」を追加ください。

また、今秋、別の高度試験を目指す方は、午前Ⅰ、午前Ⅱの試験がともに難しくなってきましたので、なるべく早く学習を開始しましょう。

アイテックには試験別に2013年秋期試験対策の学習アイテムを豊富に取り揃えております。弊社のホームページを是非ご覧ください。

<http://www.itec.co.jp>

■現在刊行済みの2013年用 試験対策書籍

- ・午前試験対策おすすめ書籍 **好評発売中!!**



- ・午後試験対策おすすめ書籍 **好評発売中!!**



- ・問題演習おすすめ書籍 **好評発売中!!**



- 論文対策おすすめ書籍 **好評発売中!!**



■今後の刊行予定書籍

- 直近の本試験の内容を理解して、出題傾向を把握するのに最適!!  
「2013 秋 徹底解説 情報セキュリティスペシャリスト 本試験問題」 **7/月上旬 発売予定**

- 「予想問題集」が装いを新たに新登場!!

問題を分野別(分類別)に収録し、苦手分野を効率的に学習できる!!

- 「情報セキュリティスペシャリスト 分野別予想問題集」 **7/月上旬 発売予定**
- 「ネットワークスペシャリスト 分野別予想問題集」 **7/月下旬 発売予定**
- 「IT ストラテジスト 分野別予想問題集」 **7/月下旬 発売予定**
- 「システムアーキテクト 分野別予想問題集」 **7/月下旬 発売予定**
- 「IT サービスマネージャ 分野別予想問題集」 **7/月下旬 発売予定**

